

9 会計の決算を認定

歳入 82億8035万円 歳出 78億9755万円
歳入歳出差引残額 3億8280万円

本会議2日目の8月21日、町長より平成30年度の一般会計及び8特別会計等の歳入歳出決算が一括上程され、代表監査委員の決算報告が行われました。一般会計の決算額は、歳入49億2410万円に対し、歳出47億4405万円で、差引額は1億8005万円となり、特別委員会に付託されました。一方、8特別会計等の決算総額は、歳入33億5625万円に対し、歳出31億5349万円で、差引額は2億276万円となりました。

8月22日には、議員11名と議長（オブザーバー）による一般会計決算審査特別委員会を開催し、町長・副町長・教育長以下、参事・課長から係長職の職員が出席して、詳細に審査を行いました。

ここでは、一般会計決算審査特別委員会の主な審査概要をご紹介します。

令和元年 第3回定例会

会期 8月20日(火)~26日(月)

- 8/20 一般質問
井上議員・平野議員 (P12)
田代議員 (P13)
議案審議
認定6件(条例)
- 8/21 議案審議等
認定9件(決算)
- 8/22 議案審議等
認定1件(決算)
議案2件(工事請負契約・条例)
委員会審査
特別委員会1件(決算)
- 8/23 議案審議等
議案3件(補正予算)
*ESCO事業関連予算ほか
委員会審査
特別委員会1件(決算)
- 8/26 委員会審査
特別委員会1件(補正予算)
*ESCO事業関連予算
議案審議等
委員会報告1件(決算)、認定8件(決算)、報告2件、諸般報告等

一般会計決算の主な質疑

歳

質 再生可能エネルギー等導入促進収入について、60万円の予算に対し48万余円の決算であるが、原因と今後の見込みはどうか。パネルの耐用年数は、

答 (総務課)
町内11か所設置しているが、事業者等と確認して予算化したが、結果としては下回った。今後については事業者と精査を進める。

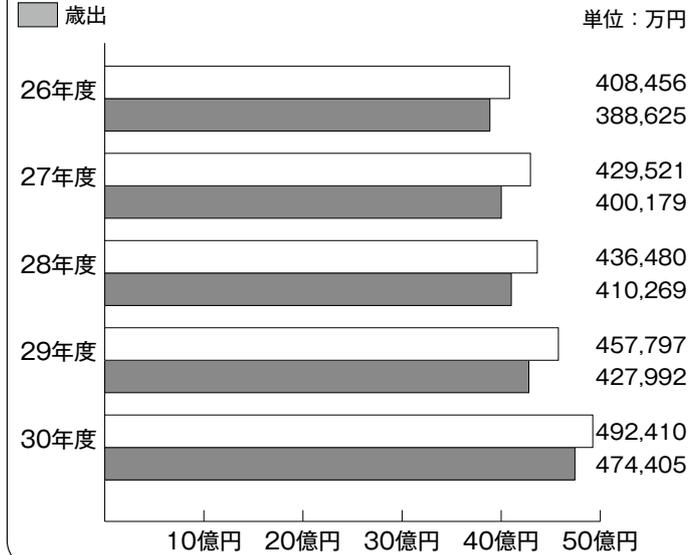
入

耐用年数は20年で、能力は低下していく。

質 ふるさと応援寄附金の決算額8937万5千円は前年度比1290万円ほど減額となっている原因と今後の見込みは、

答 (定住少子化担当室)
全国的にふるさと納税参加団体が増え、寄付先が拡散したこと。平成30年9月の総務省通知(寄

一般会計5か年の決算額の推移



付額3割地場産品の要請)の影響がある。今後も減額の傾向はあるが、好調なふるさと納税サイトの利用促進などで対応する。

質 町民文化センター事業収入予算額280万円に対し95万余円の決算額であるが、その要因とポルダリング事業開始による効果。今後の事業予定とPR方法は、

答 (教育課)
ポルダリングは5万円弱、トレーニングルームが8万円弱で、固定客の利用が多い状況のため、新規利用者の開拓をしていく。本年5月にロス・カルカス公演を行い、後2回自主事業を行う予定である。PR方法は平成30年度委託事業でホームページを作ったので活用していく。